

県政報告

～「現地現物」そして「安全はすべてに優先」～

平成29年5月12日
しんかい正春事務所
〒444-0837
岡崎市柱6丁目5-5
TEL/FAX
(0564)58-0128

様々な課題に取り組んでまいります

薫風の候 皆様方にはお健やかに過ごしのことと存じます。

早いもので、議員任期も半ばを過ぎました。私は、常々モットーにしている『現地現物』『安全は全てに優先』を忘れることなく、日々忙しく活動いたしています。

2月の県議会においては、平成29年度当初予算が審議され、4月から新年度がスタートしました。今後も、県市町の様々な課題に積極的に取り組んでまいります。ご指導・ご意見を賜りますようお願いいたします。

県議会議員 新海 正春



2月県議会の報告 本年度の県予算と、私がしました議案質疑を報告します

1. 本年度の予算編成と重点施策

平成29年度の県税収入は、本県企業の業績予想などを踏まえると、法人2税の大幅減が見込まれ、県税全体として前年度から803億円の減となります。これに県税過誤納還付金及び還付加算金の増を合わせると、1,000億円近い減収となります。

このように厳しい財政状況のもとではあるものの、限られた財源を必要な分野にメリハリを付けて重点的に配分し、産業力・経済力・文化力・人財力・地域力といった愛知の総合力を一段と高めていかなければなりません。

そこで本年度は、次のような「12の柱」の施策を重点にした予算編成が行われました。

① 中京大都市圏の推進

(交通・道路・住宅などの社会基盤整備)

- ② 産業首都愛知の確立
- ③ 農林水産業の振興
- ④ 人財力の強化
- ⑤ 医療・福祉の充実
- ⑥ 観光あいちの推進
- ⑦ 文化・スポーツ魅力発信
- ⑧ グローバル展開
- ⑨ 安全・安心対策
- ⑩ 「環境首都あいち」の確立
- ⑪ 東三河の振興
- ⑫ 地方分権・行政改革の推進

2. 議案質疑

<質問>民間住宅・建築物土砂災害対策改修事業の補助に関して

本県では、現在、9,626か所が土砂災害特別警戒区域に指定されており、区域内に住まいの方が安全な場所に移転していただくため、建設資金に対する補助などが整備されている。しかし、移転に伴う人とのつながりや資金面での不安もあり、活用者はこの10年間で1件という。

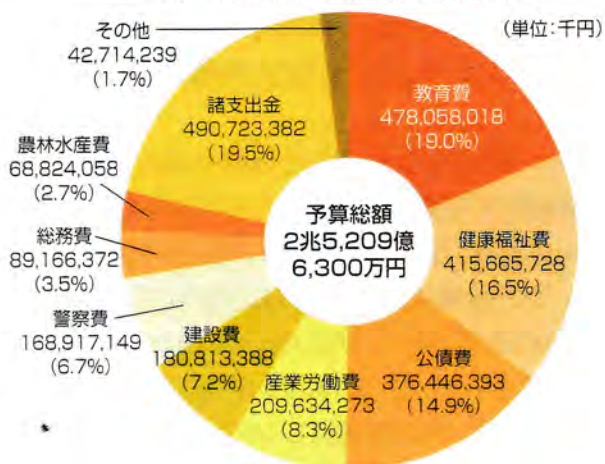
来年度からは特別警戒区域内の既存の住宅を土砂災害から守るため、外壁などをコンクリート造りにするなどの対策工事に対して、補助を行う制度が創設されるとのことである。

そこで、特別警戒区域にお住みの方に、補助制度の活用や防災対策についてをどのように周知・啓発を進めていくのか。

<回答>市町村に制度の創設を働きかけ、連携して住民説明会開催



目的別歳出の状況(一般会計)



実現しました 将来を見据え、現実を直視し、地道に取り組んでいきます

砂川の浚せつ(若松町)



砂川の浚せつ(福岡町)



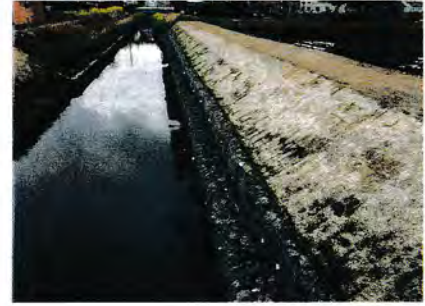
鉢地川の浚せつ(本宿町)



柳川の護岸改修(幸田町鷺田区)



鹿乗川の護岸改修(暮戸町)



通学路陸橋の改修(針崎町)



幸田石井線の改修(中島町)



安藤川の護岸改修工事も完了(中島町・在家町)

現在、取り組み中の事業

- ① 鉢地川(保母町)の浚せつ改修・ゲンジホテル保護のために検討中
- ② 相見川(幸田町)の護岸改修工事中
- ③ 鹿乗川(筒針町)の護岸改修工事中
- ④ 砂川(福岡町・若松町)の拡幅工事の早期推進
- ⑤ 岡崎刈谷線の渋滞対策・先ずは牧内交差点で交通量調査の実施
- ⑥ 福岡線の築造の早期推進



福岡学区 平野精一様

新海県議は、市議会議員を11年間(議長も経験)務めてから県議会議員になられた方であり、岡崎市の特に南部地域の行政については大変詳しい方だと思います。

県議になられてからの2年間においても、私たちの福岡学区の安全で安心な町づくりにご尽力をいただいております。有難く思っています。

今、福岡学区民の大きな関心事に、藤田保健衛生大学病院の建設や大型商業施設の出店などがあります。隣の学区といえども、その影響は計り知れないものがあると思われます。特に、学区内の交通状況の混雑さは目に見えています。早急にアクセス道路などの環境整備について、住民への説明会の開催をお願いしたいです。